

ニカメイガ（第2世代幼虫）の多発生に注意!!

近年、坂井地区や福井北部地区を中心にニカメイガの被害が発生しています。7月に発生する第2世代幼虫は、減収に直結する心枯れや変色茎の甚大な被害をもたらします。

令和2年に甚大な被害をもたらした地区もあったため、ニカメイガの発生に注意して、遅れないよう適期に防除を行いましょう。

1 発生予想

今年の越冬世代成虫の発生は、平年・昨年より多く、また、前年の発生経過ではその後急激に幼虫の発生が増えた地区もあり、坂井や福井北部などでは、前年以上の甚大な被害も予想されます。すでに第1世代成虫の発生も確認され始めていますので、遅れずに防除しましょう。



幼虫の食入による変色茎

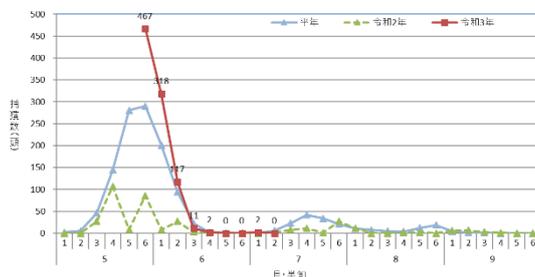


図 フェロモントラップにおける成虫捕獲数

2 防除時期

	防除適期	注意
粒剤	7月4半旬頃 (発が最盛期)	パダン粒剤4の使用期限は収穫30日前までのため、早生品種の使用は注意する。
粉剤、液剤	7月5半旬頃 (発が最盛期～5日頃まで)	

3 防除薬剤

病害虫名	薬剤名	10a当たり 使用量	使用濃度	収穫前 日数	注意事項	
ニカメイガ 第2世代 (本田防除)	エルサン粉剤 3DL	3kg		7日前	・粒剤使用の場合は、1週間程度灌水し、かけ流しはしない。また漏水の多いところでは使用しない。 ・パダン粉剤DL、パダン粒剤4、パダンSG水溶剤はナス科野菜、タバコにかからないように注意する。	
	パダン粉剤DL			21日前		
	パダン粒剤4	3~4kg		30日前		
	エルサン乳剤			1,000倍		7日前
	パダンSG水溶剤			100ℓ		1,500倍

◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室 連絡先 0776(54)5100

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>
QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意し、安全に使用しましょう

病害虫の適期防除に努めましょう